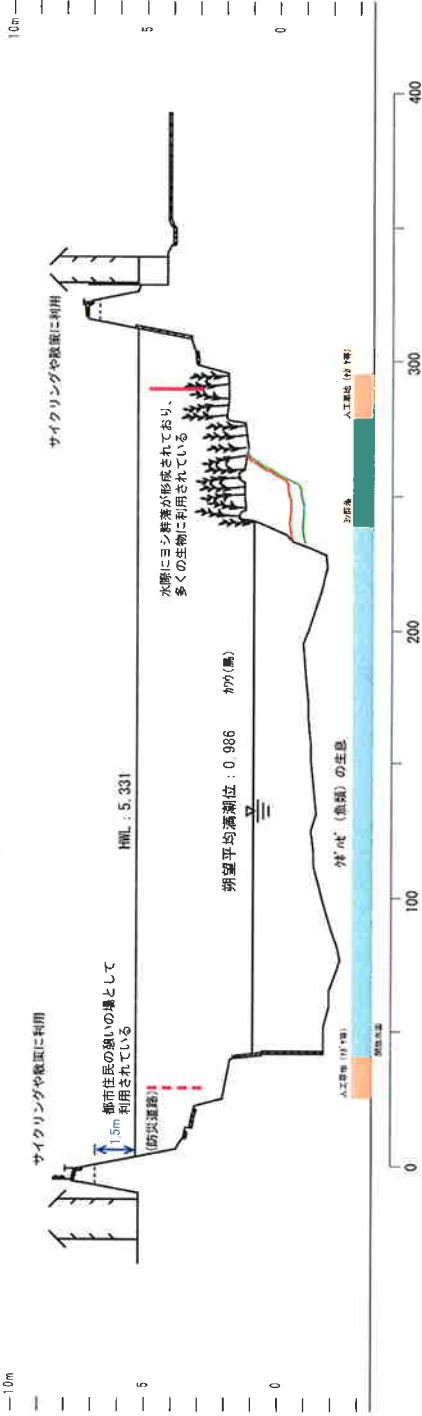


環境面への配慮のポイント  
 ○高水数や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。  
 ○干潟やヨシ原には感湖域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。  
 ○河鮮林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防幅
	整備計画河道断面		右岸堤防幅
	現況河道断面		計画堤防高

標高 (T.P.m)

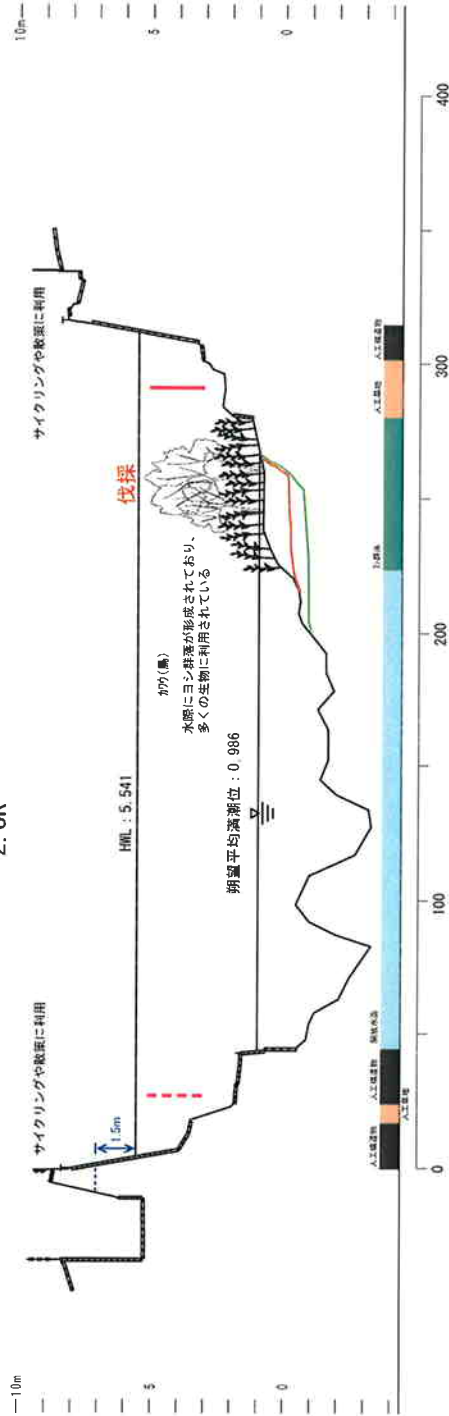
2.6K



〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、河岸  
 掘削を行う。  
 〔環境〕  
 ○掘削面は緩勾配とし、冠水条件に変  
 化をもたせ、ヨシ原と干潟に配慮する。  
 〔利用〕  
 ○高水数や堤防は散策利用などが盛ん  
 であるため、都市部の空間利用に配慮  
 する。

標高 (T.P.m)

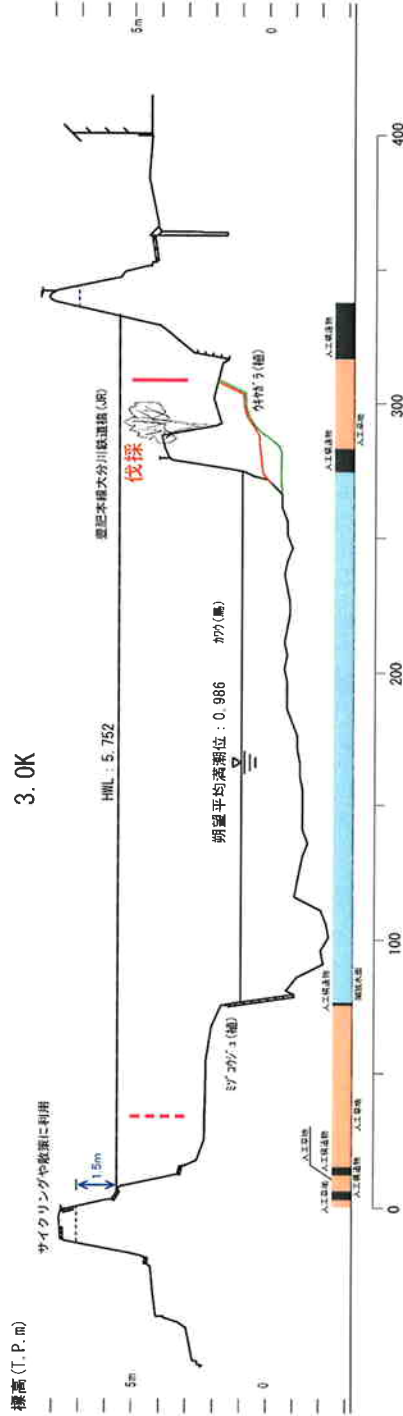
2.8K



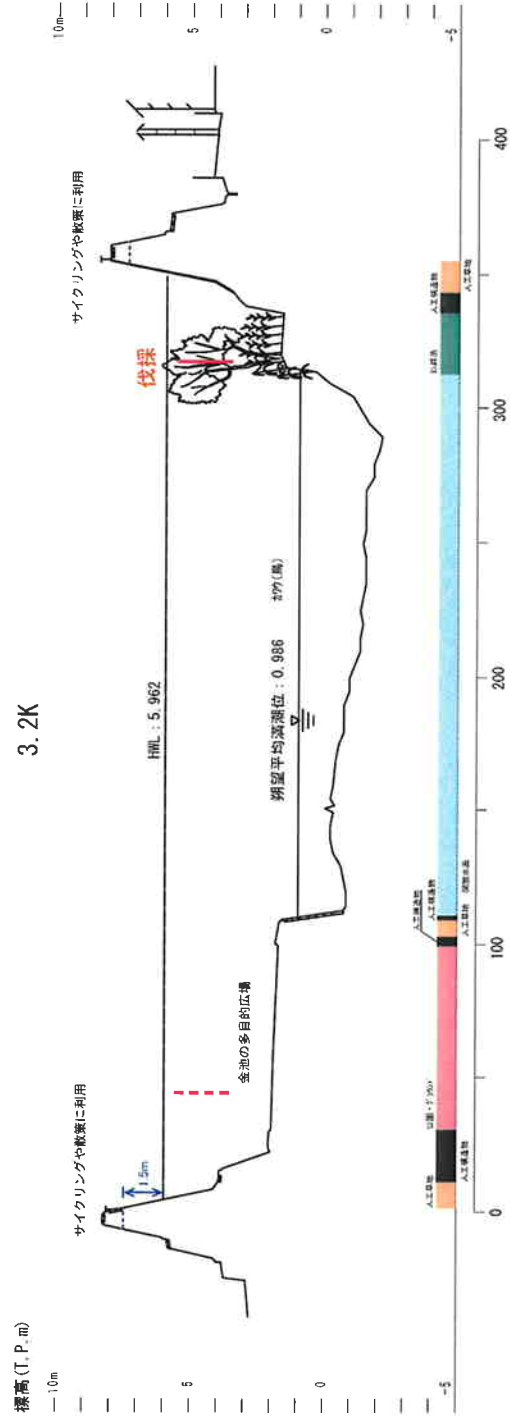
〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木  
 伐採・河岸掘削を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水数に多くの樹木が落ちるため、伐  
 採による影響は少ないと判断される。  
 ○掘削面は緩勾配とし、冠水条件に変  
 化をもたせ、ヨシ原と干潟に配慮する。  
 〔利用〕  
 ○高水数や堤防は散策利用などが盛ん  
 であるため、都市部の空間利用に配慮  
 する。

環境面への配慮のポイント  
 ○高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。  
 ○干潟やヨシ原には感潮域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。  
 ○河群林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防防備幅
	整備計画河道断面		右岸堤防防備幅
	現況河道断面		計画堤防高



〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採・河岸掘削を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 ○細斜面は勾配や形状を岸脚にせず、多様な水辺環境に配慮する。  
 〔利用〕  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。



〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 〔利用〕  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。

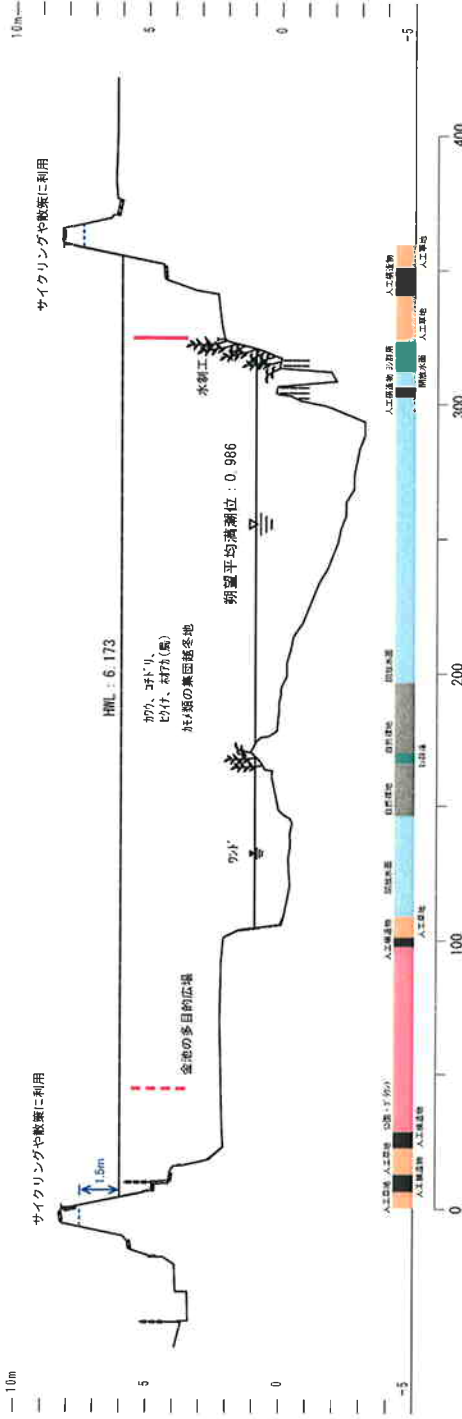
環境面への配慮のポイント

- 高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。
- 干潟やヨシ原には感潮域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。
- 河鮮林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防防護幅
	整備計画河道断面		右岸堤防防護幅
	現況河道断面		計画堤防高

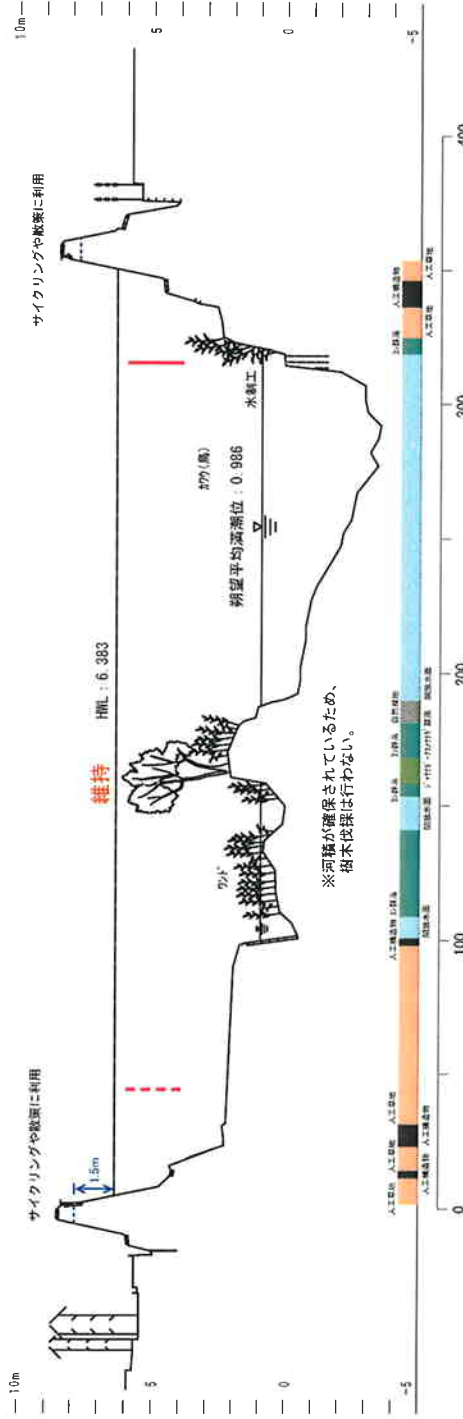
標高 (T.P.m)

3.4K



標高 (T.P.m)

3.6K



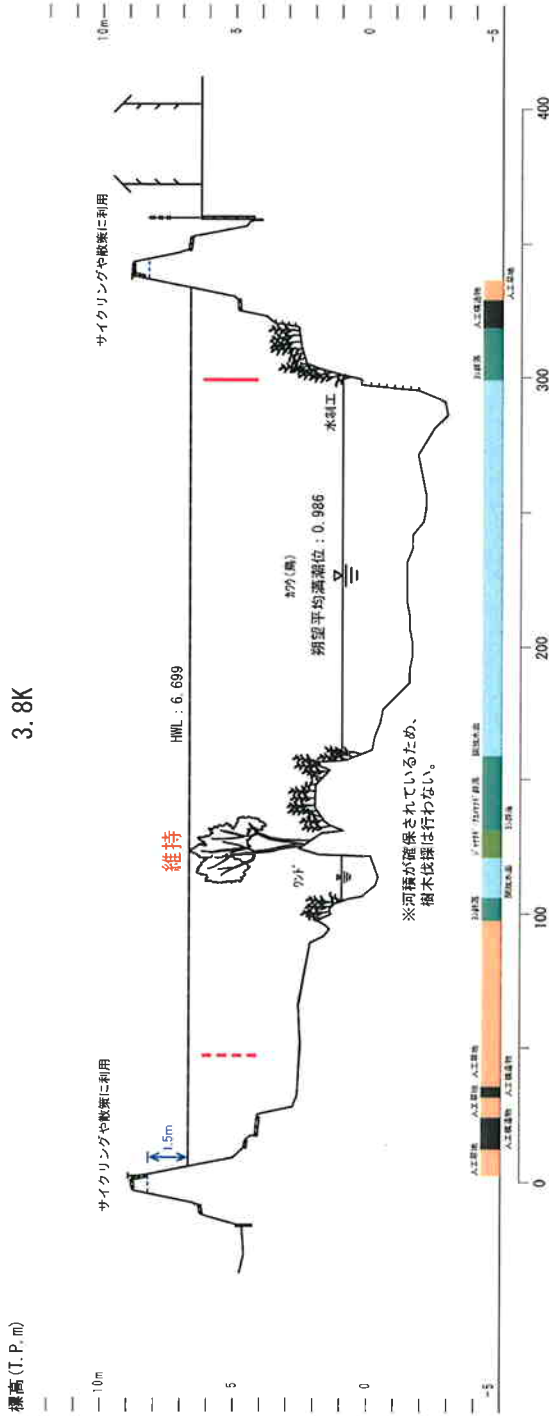
※河筋が確保されているため、樹木伐採は行わない。

環境面への配慮のポイント

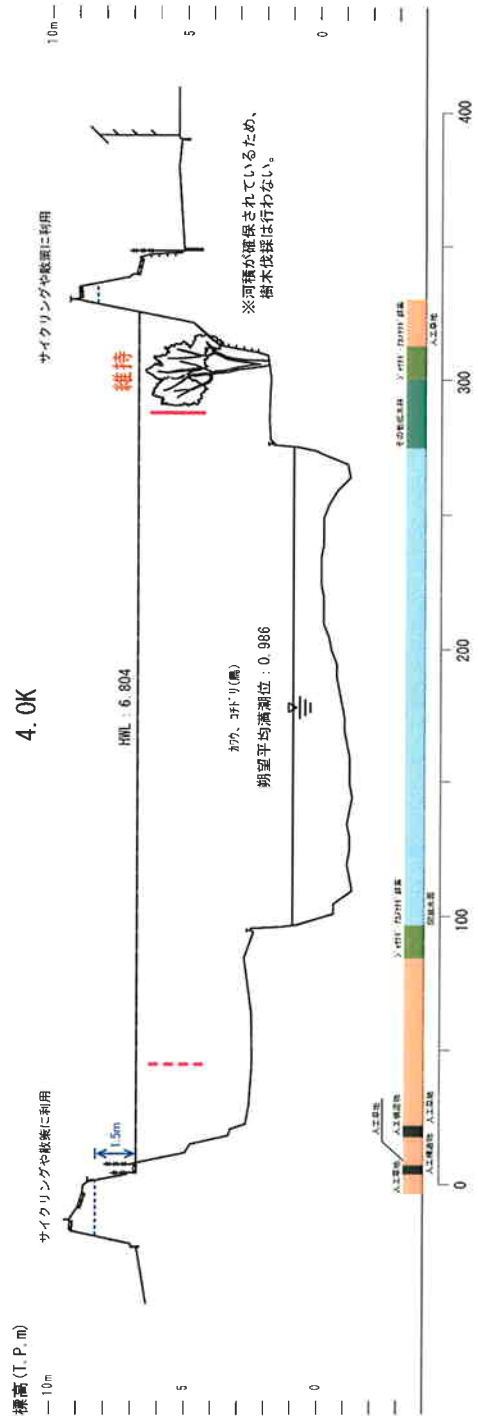
- 高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。
- 干潟やヨシ原には恐竜域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。
- 河畔林は地塚に親まれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防設備
	整備計画河道断面		右岸堤防設備
	現況河道断面		計画堤防高

標高 (T.P.m)

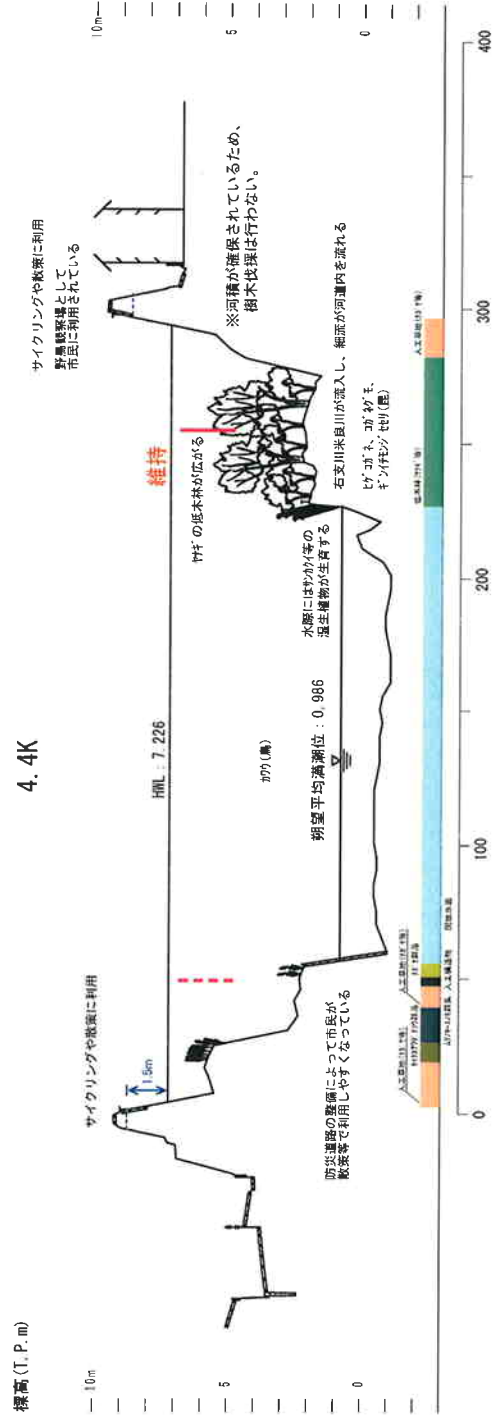
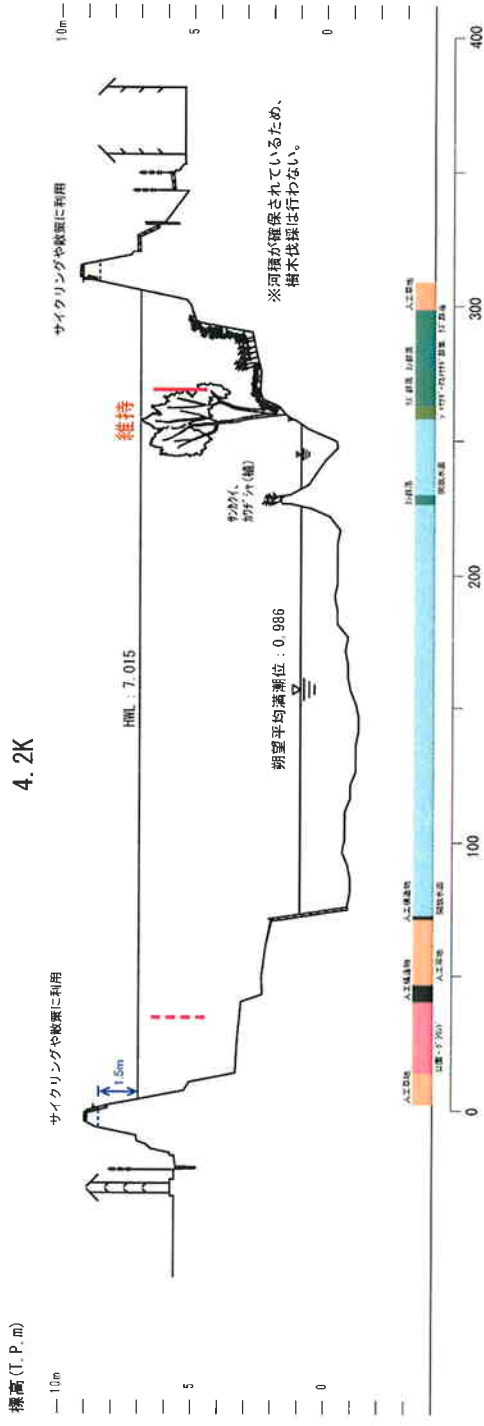


標高 (T.P.m)



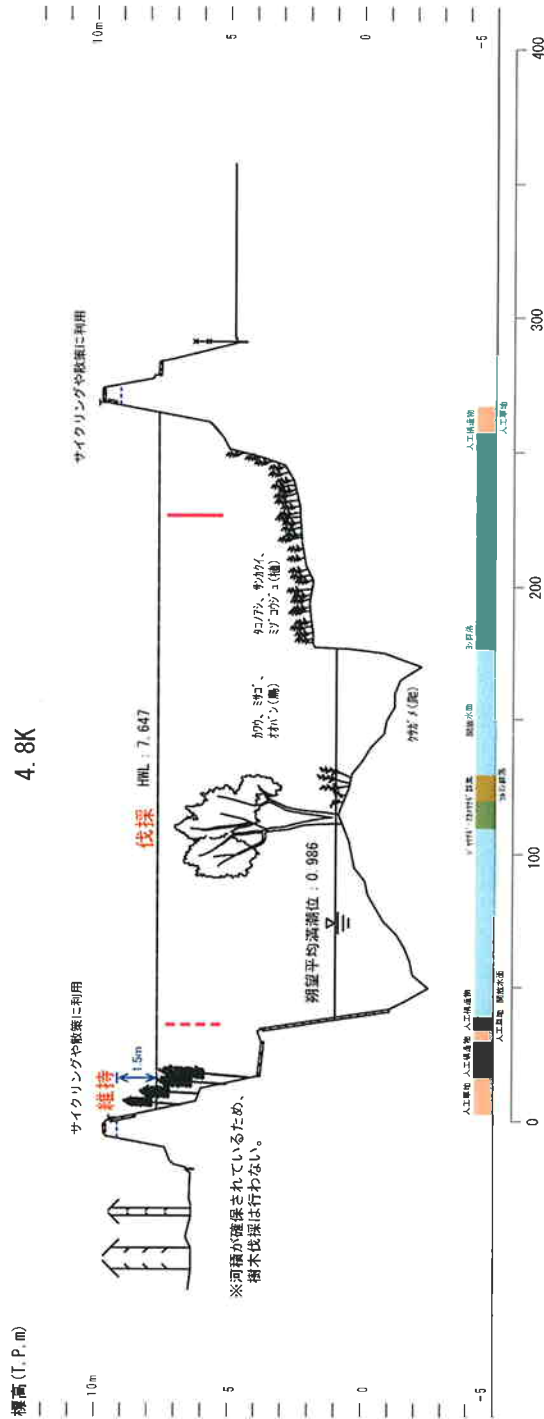
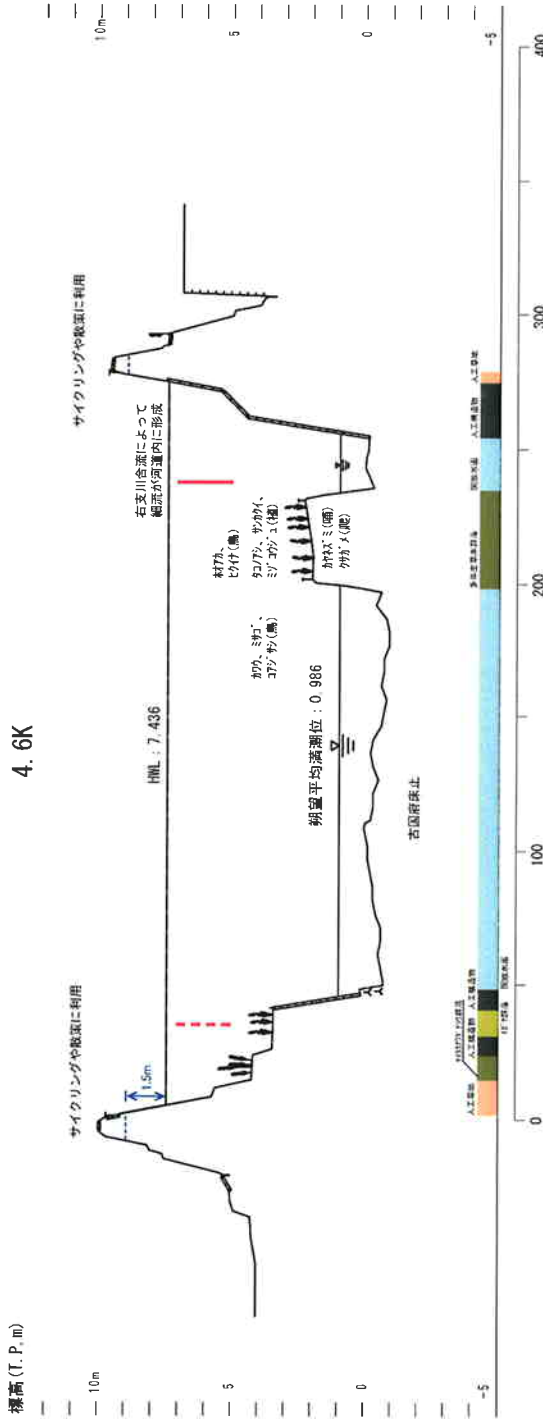
環境面への配慮のポイント  
 ○高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。  
 ○干潟やヨシ原には恐竜域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。  
 ○河畔林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防設置
	整備計画河道断面		右岸堤防設置
	現況河道断面		計画堤防高



環境面への配慮のポイント  
 ○高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。  
 ○平沼やヨシ原には恐竜域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。  
 ○河畔林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面	---	左岸堤防防護幅
	整備計画河道断面	---	右岸堤防防護幅
	現況河道断面	.....	計画堤防高



〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。  
 [環境]  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 [利用]  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。

※河床が確保されているため、樹木伐採は行わない。

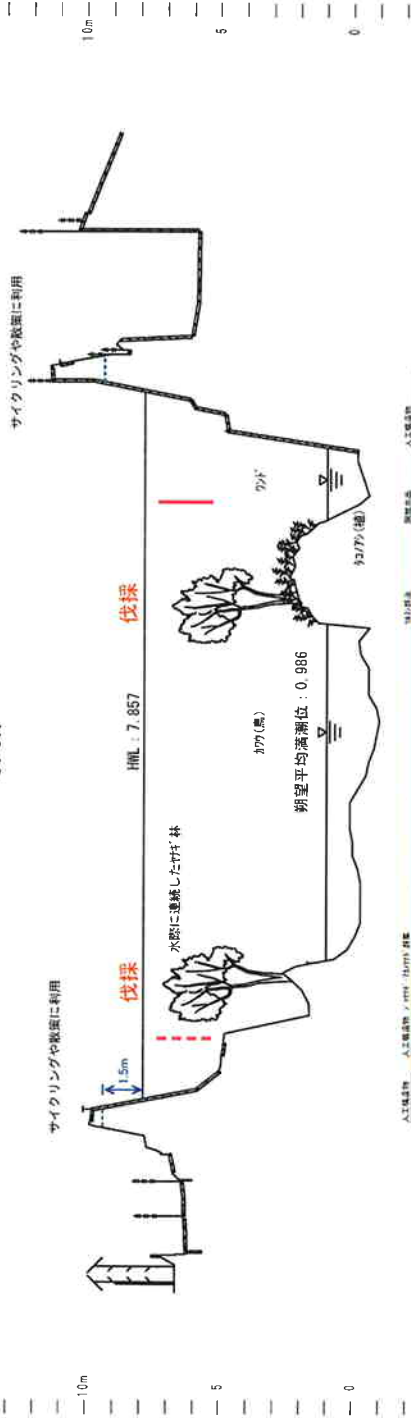
凡 例

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防設備幅
	整備計画河道断面		右岸堤防設備幅
	現況河道断面		計画堤防高

環境面への配慮のポイント  
 ○高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。  
 ○干潟やヨシ原には恐湖域の多様な生物が息づくため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。  
 ○河畔林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

標高 (T.P.m)

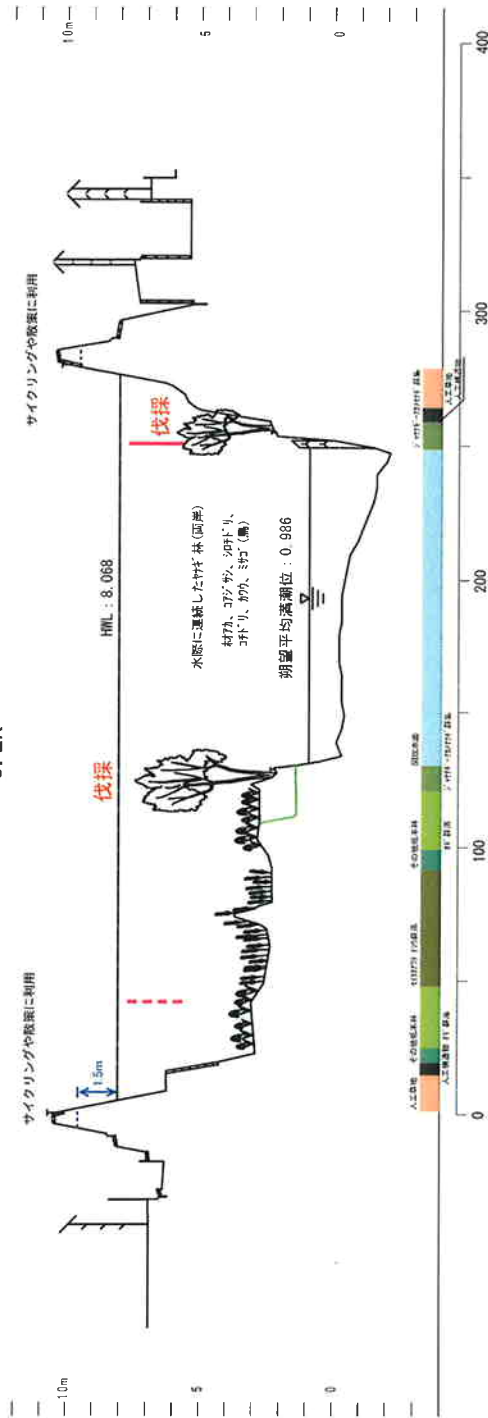
5.0K



〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 〔利用〕  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。

標高 (T.P.m)

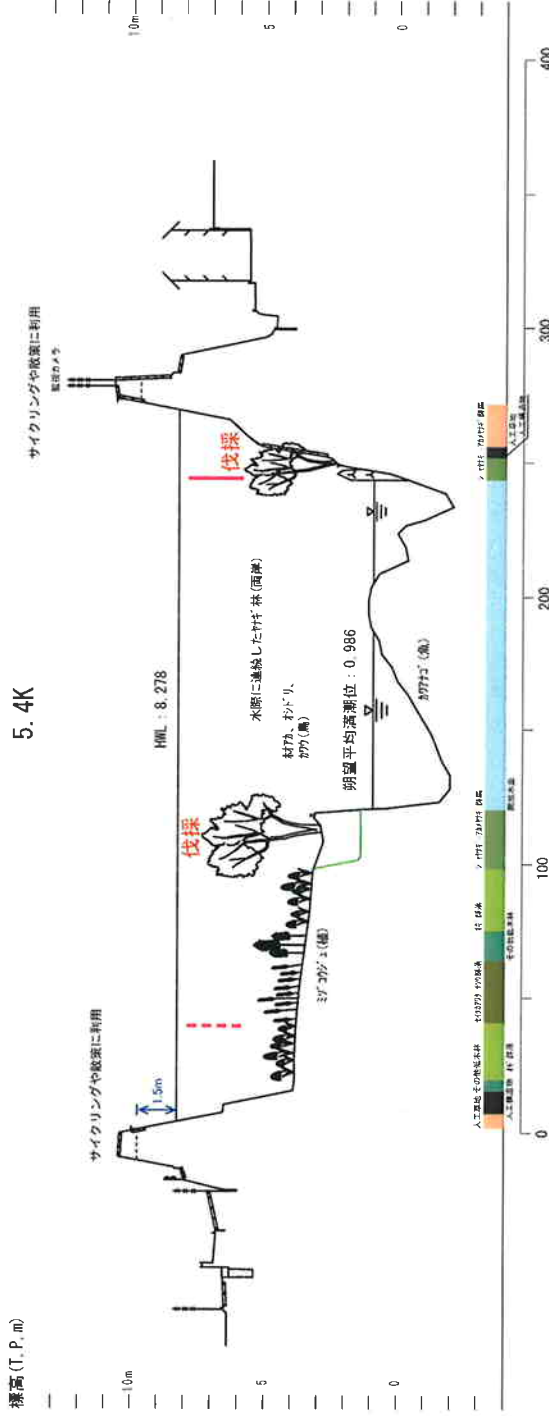
5.2K



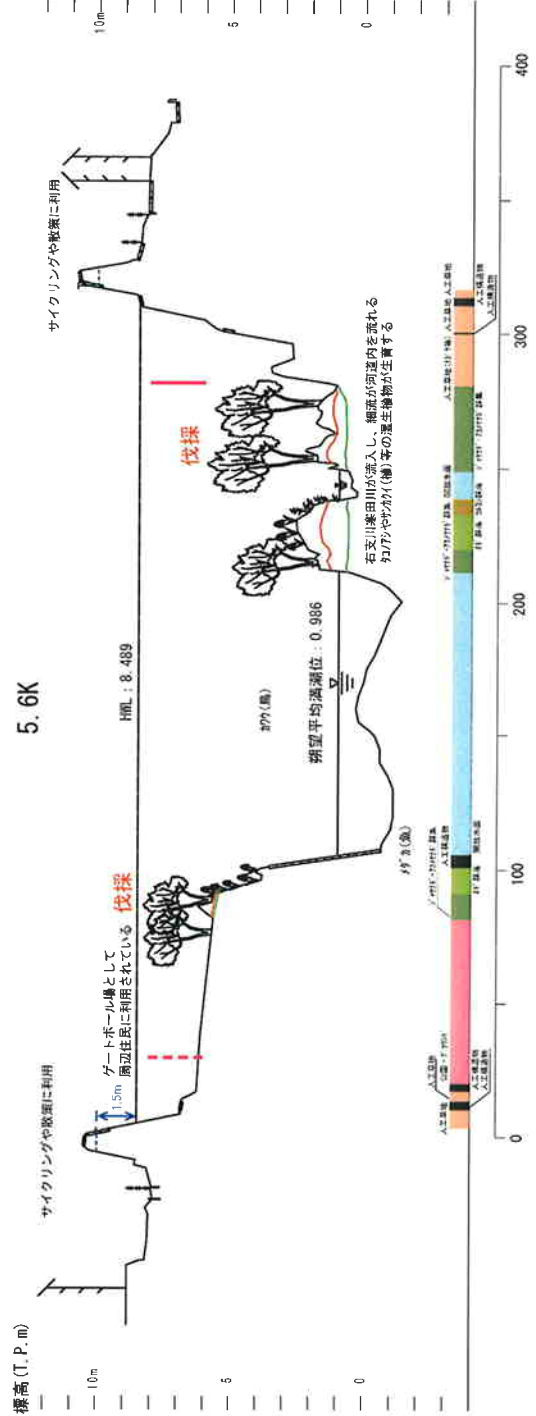
〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 〔利用〕  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。

環境面への配慮のポイント  
 ○高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。  
 ○干潟やヨシ原には感潮域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。  
 ○河鮮林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防運幅
	整備計画河道断面		右岸堤防運幅
	現況河道断面		計画堤防高



〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 〔利用〕  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。



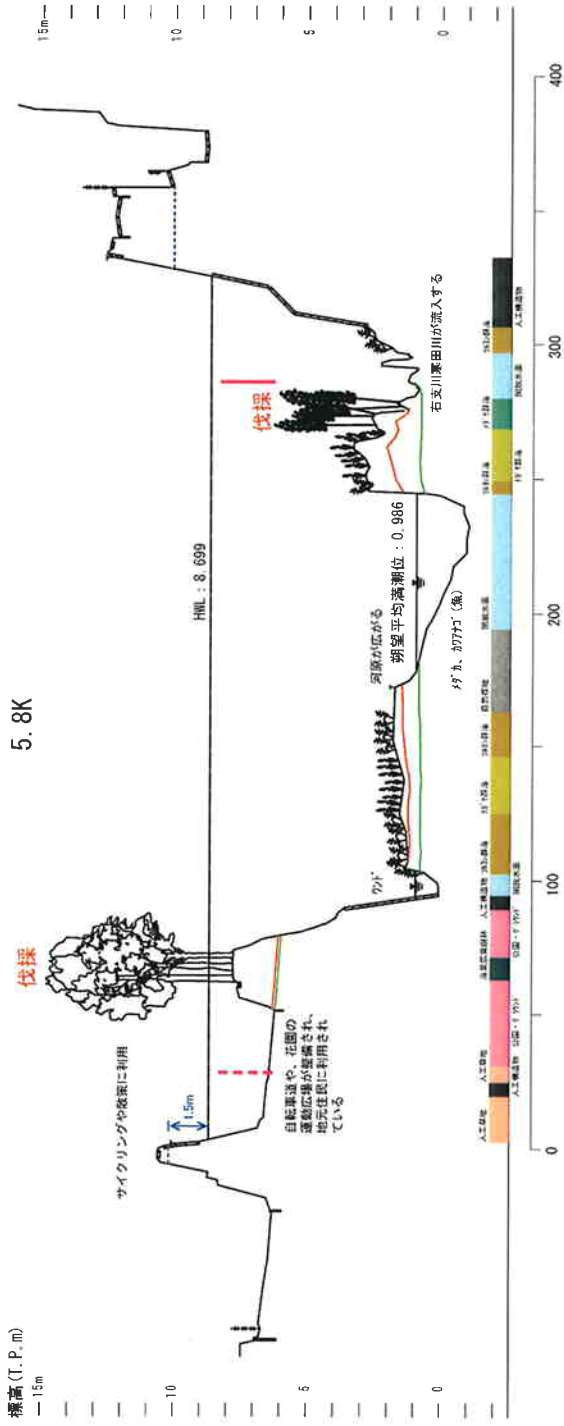
〔治水〕  
 ○流下能力が不足しているため、樹木伐採・河岸掘削を行う。  
 〔環境〕  
 ○高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。  
 ○多様な水階部に配慮して、水階部は掘削し削り下げ、低水敷蒸発を切り下げ、掘削面は勾配や形状を単純にしない。  
 〔利用〕  
 ○高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。



環境面への配慮のポイント

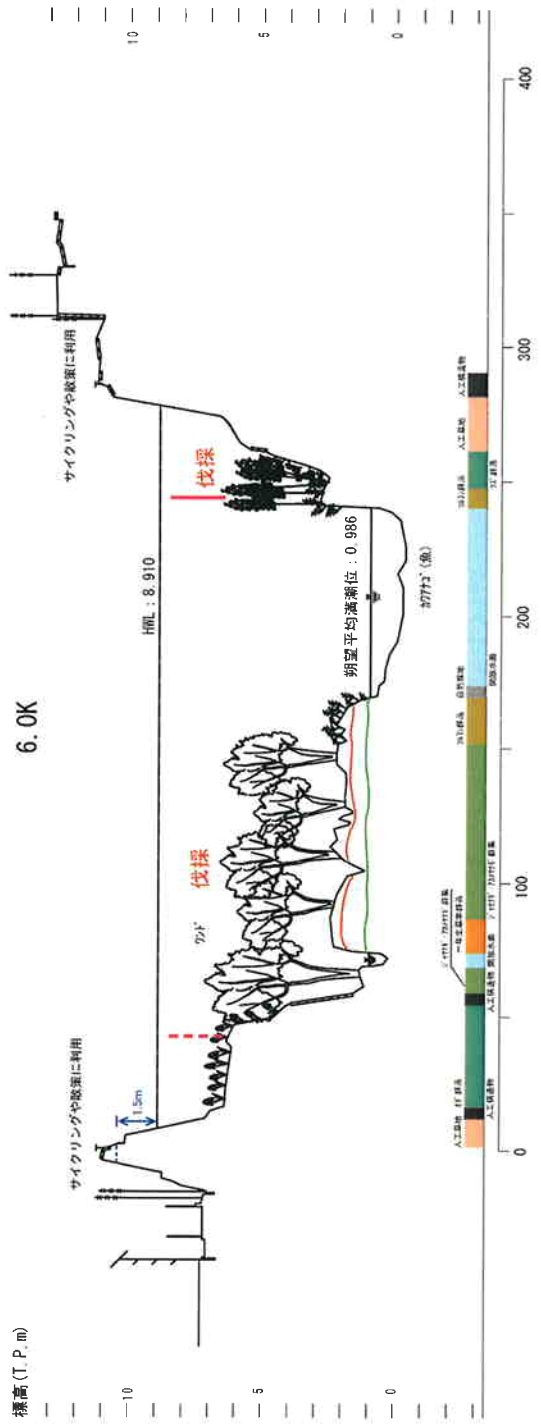
- 高水敷や堤防はイベント・スポーツ・散策利用が盛んであり、都市部の河川空間への配慮が必要である。
- 干潟やヨシ原には感潮域の多様な生物が生息するため、河床や多様な水辺環境への配慮が必要である。
- 河畔林は地域に親しまれ、良好な河川景観をつくることから、樹木群への配慮が必要である。

記号	名称	記号	名称
	基本方針河道断面		左岸堤防設備
	整備計画河道断面		右岸堤防設備
	河床河運断面		計画堤防高



【治水】

- 流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。
- 【環境】
- 高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。
- 多様な水際部に配慮して、水際部は極力掘削せずに低水敷整備を切り下げ、掘削面は勾配や形状を準調にしない。
- 【利用】
- 高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。



【治水】

- 流下能力が不足しているため、樹木伐採を行う。
- 【環境】
- 高水敷に多くの樹木が残るため、伐採による影響は少ないと判断される。
- 多様な水際部に配慮して、水際部は極力掘削せずに低水敷整備を切り下げ、掘削面は勾配や形状を準調にしない。
- 【利用】
- 高水敷や堤防は散策利用などが盛んであるため、都市部の空間利用に配慮する。